

2016年3月15日

株式会社 リクルート コミュニケーションズ

～官民連携「都市の魅力向上プロジェクト」第1弾～ SUUMO内に「ライフスタイル別の街選び！」企画をリリース

株式会社リクルートコミュニケーションズ（本社：東京都中央区、代表取締役社長：清水 淳）は2015年度、総務省・14自治体と4回の共同ワークショップを開催、その議論を経て、株式会社リクルート住まいカンパニー（本社：東京都中央区、代表取締役社長：野口 孝広）と共に、SUUMO「みんなの街」コーナーに新コンテンツ「ライフスタイル別の街選び！」をリリースしました。

1.本取組みの背景

総務省では、公共データの開放によって行政の透明性・信頼性の向上や官民協働の公共サービス等の実現を図る「オープンデータ」を推進していますが、公開された公共データが十分に活用されていないことを課題の一つと捉えていました。こうした課題の解決を図るため、総務省と、埼玉県内の地方公共団体（さいたま市、川越市、草加市、戸田市及び和光市）、千葉県内の地方公共団体（千葉市、船橋市、松戸市、柏市及び流山市）、神奈川県内の地方公共団体（横浜市、相模原市、横須賀市及び藤沢市）、一般社団法人オープン&ビッグデータ活用・地方創生推進機構（VLED: Vitalizing Local Economy Organization by open Data & big Data）、株式会社リクルートコミュニケーションズ並びに株式会社リクルート住まいカンパニーで、地方公共団体が保有するデータのオープン化とその利活用を促進するための取組みを開始いたしました。

2.本コンテンツについて

2015年4月より4回に及ぶワークショップを総務省・14自治体と合同で開催。その議論を経て、第1弾のデータ活用例として、家賃や駅徒歩分数といった画一的指標ではない、街に関するデータを活用し、街の魅力をタイプ別に紹介するコンテンツ「～理想の街が見つかる！？～ライフスタイル別の街選び！」を作成いたしました。今後、他の行政市区においても、オープンデータを活用した街紹介コンテンツを作成、公開していく予定です。

このプロジェクトを通じて、地縁がある街や人気の街など「知っている街」のみならず、自分の理想のライフスタイルを実現しやすい街を、各街の特徴から探しやすくすることを目指します。また、この取組みを通じて、都心一極集中で人口流出に悩む自治体の問題解決にも貢献していきたいと考えています。

>> 詳しくはこちら

<http://suumo.jp/area/theme/lifestyle>



TOPページ

各自治体ページ

【本件に関するお問い合わせ先】

<https://www.rco.recruit.co.jp/contact/>

本コンテンツ開発は、総務省主催「都市の魅力向上プロジェクト」の一環。国、自治体、NPO、民間企業の参加者はのべ97名。2016年度も継続。

「オープンデータ推進」を目的に、総務省主催のもと、リクルートコミュニケーションズが企画を担当。リクルート住まいカンパニーとのコラボレーションにより2015年4月にプロジェクトを発足いたしました。自治体の皆さまにご提供いただくデータをシティプロモーションへ活かすチャレンジをしています。

データ活用による

都市の 魅力向上 プロジェクト



RECRUIT リクルートコミュニケーションズ

主催：総務省
オープンデータの
利活用を推進したい

大義設定

**win-win-win
官民連携による
プロジェクト発足**

保有の
公共データ

調査データ
街の魅力特定
SUUMO掲載

協力：自治体
街の魅力をPRして
住む人を増やしたい

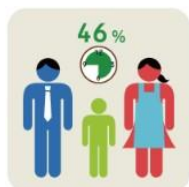
企画：リクルート
家選びをする人のニーズ
に合ったコンテンツ開発
で流入数を増やしたい



2015年度は4回にわたり「街の魅力特定・それを表現する公共データ発見」のワークショップを実施

**「データで表現する街の魅力」と「個人が実現したいライフスタイル」の
マッチングによるライフスタイル別の街を選ぶコンテンツは今後も拡充予定。**

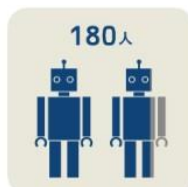
アクセス利便や物件価格など合理的な基準に加えて、「個人が実現したいライフスタイル」という非合理的な基準で住む街を選ぶようなコンテンツの開発を目指します。



子育てファミリー フルタイム共働き率46%!
つくばエクスプレス線の開通により、流山おおたかの森駅から東京駅まで約28分と、都内から好アクセスに。そのため子育てしながらフルタイムで有職しているファミリーも多いためです。子育ても仕事も妥協なし!

※2014年8月流山市子ども子育て支援事業計画策定に関するニーズ調査

▲千葉県流山市の例



ICTの先進都市ならではの授業！公立小学校初のロボティクス授業延べ約180人受講

子どもたちの可能性を広げる最新授業「横浜市×アクセントアール『STEM人材育成』授業」の取組みがスタート。初回は、小学生が実際にプログラミングを経験し、考案したロボットを制作、プレゼンテーションする課題解決型授業を実施。

※横浜市調べ2015年2月時点

▲神奈川県横浜市の例